

平成30年入職（一般事務）

● 人事課

#市役所は仕事の宝庫  
自分の「やりたい」を仕事に。

## 太田市に貢献したい気持ちを貫く

生まれ育った太田市の経済や文化の発展に貢献したかったからです。大学進学を機に一度太田を離れて暮らし、就職活動も太田市職員採用試験の他に県内外の民間企業を応募していました。太田市役所と民間企業の双方から内定をもらったときに、再度自分のやりたい仕事を考えた結果、太田市役所は民間企業と異なり、一貫して太田市のために働くことができると考え、入職を決めました。

## 職員の要望に応えることが、腕の見せ所

私の所属する給与厚生係では、文字通り職員の給料や福利厚生に関する仕事を行っており、職員の生活を安定させ、それをより豊かにしていくお手伝いをしています。市民のために働くのが市役所職員の役割ですが、我々は職員のために働くことで、職員が集中して仕事に取り組める環境をつくり、間接的に市民サービスの向上に貢献しています。

給料や手当の支給額や、健康保険や職員互助会による給付内容はそれぞれ条例や規則によって細かく定められているため、職員に対して何でも自由に支給できるわけではありません。そのため職員が申請を誤ると、本来受給できたものなのにそれを受け取ることができなくなってしまうことがあります。そこで、職員の求めていることを的確に聞き取り、適正な支援を受けられるよう迅速に導いていくのが我々の腕の見せ所です。感謝の言葉をかけられることもあり、それがやりがいとなっています。

## 地元のお祭りや高校の部活動で活躍

上司が休暇の取得を積極的に勧めてくれるため、自分の仕事とプライベートの状況に合わせ有給休暇などを取得しやすい雰囲気を作られているのはとてもありがたいです。また、今年度より時差出勤制度（あさ活・ゆう活）も導入されたため、ちょっとした用事も普段の勤務日に済ませることができるようになりました。

休みの日は趣味の旅行に出かけることが多いですが、その際は福利厚生担当として職員が受けられるレジャー施設などの割引制度を積極的に活用し、利便性を確かめるよう心がけています。旅行以外では、高校の部活動をOBとして指導しているほか、演芸団体に参加し地元のお祭りで踊りを披露することもあります。また、市役所の部活動で合宿や大会にも参加しています。

### 私の仕事アイテム



いつも持ち歩いているこの筆箱です。小学生の頃から使っているためボロボロですが、愛着があるので捨てられずに使っています。

### みなさんへ



市役所の仕事とって思い浮かぶ仕事は人によって様々だと思います。太田市役所では部が12、課が83と、実にたくさんの部署があり、ほとんどの部署が市民サービスを提供するための仕事をしています。そういった部署だけでは市役所がスムーズに機能しません。市の特徴的な政策を研究するだけでなく、組織として市役所全体を眺めてみると新たな発見があるかもしれません。給料と福利厚生のことなら我々にお任せ下さい。皆さんの入職をお待ちしています。

平成28年入職（一般事務）  
● 工業振興課

#パパママになってもとても働きやすい環境  
「ワークライフブレンド」で働く。

## 活気ある職場に憧れて

新卒で入職した旅行会社の営業時代に市の職員と一緒に仕事をする機会がありました。それまでは市役所は静かで暗いイメージでしたが、活気のある職場や楽しい仕事もあるんだと身を持って体験し、私も生まれ育った太田市で働いてみたいと思い入職を希望しました。そこで、私は小さい頃から続けているスポーツを自分の強みとして、それを活かして受験に取り組みました。

## 「おおたなでしこ未来塾」で私も輝く

私は今年度、国の補助金を活用した女性起業塾「おおたなでしこ未来塾」のメイン担当となりました。女性が様々な生き方・働き方ができるように、それぞれキャリアもライフスタイルも異なる中で、どのように「自分らしく」働き続けていけるのかを一緒に考えてサポートしています。

私はあがり症のため、セミナーの司会進行がうまくいったときや、参加者から“未来塾に入ってよかった、ありがとう”と言っていたときはやりがいを感じます。また、都内から講師を招くことも多いため、普段なかなか聞けない講演と一緒に聞くことができ、とても貴重な経験ができています。参加者からの生の意見を聞くことは少し怖さもありますが、やりがいにもつながっています。太田市で多くの女性がキラキラと輝いて活躍してほしいと願っています！！



## 「ワークライフブレンド」で人生を楽しむ

3歳になる可愛い息子がいるので、育休復帰後から現在において時短勤務制度を利用しています。限られた時間の中での仕事のため、優先順位を考えることはもちろん、1週間の仕事の把握やToDoリストの作成などタイムマネジメントをして、子供と一緒に過ごす時間をたくさん作れるように努めています。

また、いろいろな働き方がある中で、私は「ワークライフブレンド」という考え方で働いています。私の担当は土日出勤もあるため時間を有効に使って、仕事で得た情報を日常で活かしたり、逆にママ業で得た時短方法を仕事で活かしてみたりして、あえて仕事とプライベートを区別せず融合させてひとつの人生としてまろごと楽しんでいます。結婚休暇や産休・育休、時短勤務、看護休暇などの制度もしっかり使えるので、パパママになってもとても働きやすい環境だと思います。

### 私の仕事アイテム



都内や遠方の方とのオンライン会議やオンライン講座をする際に使うiPadと、書きやすいミニボールペン♪

### みなさんへ



最初はどの部署に配属されるか分かりませんが、市の仕事は数えきれないくらいたくさん種類があり、自分の興味関心のある分野にも携われると思います。

それから、女性にとってとにかく働きやすい環境も魅力です！一緒に盛り上げたい、変えていきたいと思う方にぜひ太田市に来てほしいです。一緒に働ける日を楽しみにしています。

平成19年入職（一般事務）

都市計画課  
企画政策課  
経済産業省 関東経済産業局 派遣  
広報課

#ヒト・モノ・コトの架け橋に  
市民と共に歩み、未来を創る。

## 不安に寄り添うことが市役所

「学校を卒業すると不安」。養護学校で臨時の仕事をしていた頃に保護者が口にした言葉です。学校を心の支えにしていた保護者の戸惑いを肌で感じた瞬間でした。この時「その不安に寄り添うことができるのが市役所なのではないか？」と感じました。これが私の志望動機です。福祉に直接携わらなくても、まちづくりや情報発信を通じてハンディキャップのある市民やその家族に貢献できればと考えています。

## ヒト・モノ・コトの接着剤

私は現在、シティプロモーションを担当しています。情報を発信するためには、自ら現場に行き、見て・聞いて・感じる事が重要です。そのため、日ごろからたくさんの市民や事業者の方とお会いしてお話を伺っています。これを繰り返してきたためか今では街の情報が自然と集まってくるようになり、市内のヒト・モノ・コトのつなぎ役になることもあります。地域の接着剤として頼られることは、地域や市民に身近な市職員としてのモチベーションに繋がっています。



## 「仕事の先の市民」を意識して

仕事で大切にしていることとして、仕事の先に市民の存在があることを意識しています。美術館・図書館の設計に携わっていた頃、市民参加型のワークショップを開催しました。駅前にドンッと建てるからには、市民に愛されるものであってほしい、毎日利用者で賑わっていてほしい、駅前が変わる瞬間を市民の皆さんと共有したいと思っていました。数カ月におよんだワークショップでは美術館・図書館を形作る重要な決定事項の多くを市民に委ねました。結果として太田駅の北口は、様々な世代の人々が集まるサードプレイスとなりました。この仕事をきっかけに「仕事の先の市民の存在」をより意識するようになりました。

「広報紙は市民へのラブレター」と言う方もいらっしゃいますが、広報おたを編集する上でも情報を受け取る側に立って同僚や上司と意見交換しています。どのセクションにおいても、市民の存在を意識した仕事をする事で、より効果的な行政サービスにつながると私は考えます。

## 私の仕事アイテム



貼り絵作家・ちぎらまりこさんにデザインしていただいた名刺です。太田のシンボル・金山と美術館・図書館で太田をPRしています。

## みなさんへ



この年齢になると、都内で働く大学の同期などから「お前がうらやましいよ」という話をチラホラと聞くようになります。長い将来を見据えると、住環境や子育て環境においては地方の方が圧倒的に過ごしやすと感じるからだと思います。太田から東京までは2時間弱です。いつでも都会に遊びに行けます。東京からさほど離れていないトカイナカでの生活は快適ですよ。

平成21年入職（土木事務）

道路管理課  
道路整備課  
道路保全課  
（一社）構想日本派遣  
まちづくり推進課

#生まれ育った街で働く  
太田市全体の視点で判断するということ。

## 環境汚染や少子高齢化、地域コミュニティの希薄化などに関心を抱く

これからどんな人生を歩んでいきたいか自問自答を繰り返していた学生時代。当時から社会問題として挙げられていた環境汚染や少子高齢化、地域コミュニティの希薄化などに関心を抱くようになり、何か自分にできることはないかと考え始めました。それをきっかけとして、いつの時代においても社会にとって必要な役割を担う行政の仕事に携わりたいと思い至り、生まれ育った太田市で働くことを決意しました。

## 市民の気持ちに寄り添う

行政には様々な要望が寄せられます。これらの要望には現場の生の声が込められており、沢山の「気づき」を得ることができます。しかし、全ての要望に対応できるわけではありません。

公費を扱う立場として、太田市全体の視点で判断することが求められるからです。要望者の気持ちになると心苦しく思うこともあります。その際は、対応できない理由を丁寧に説明することを心掛けています。何度も重ねて説明し、理解を得られたときは心からホッとすると共に、仕事のやりがいとして感じる瞬間でもあります。しっかりと対話をすることによって、市民と行政がより身近な関係になれると信じて、これからも業務に取り組んでいきたいと考えています。



## 業務の「目的」「成果」を定期的に見直すことが大切

自分の担当する業務の「目的」と「成果」を定期的に見直すことを大切にしています。これは、1年間お世話になった（一社）構想日本の仕事を通じて極めて重要だと再認識したことです。何のため、誰のためを明確にした上で、それらと合致した具体的な成果指標を定めることによって、取り組みたい内容や必要となるコスト、その後の展開などが見えてきます。日々の業務に追われ、見直しまで手が回らない時期も確かにあると思います。しかし、公費を扱う行政だからこそ一旦立ち止まり、「これまで取り組んできた内容は本当に目的と合っているか」、「目的はそもそも現場ニーズと合っているか」、「成果指標は抽象的過ぎないか」などの視点で担当業務を見直す機会を設けることで、太田市全体にとって本当に必要とされる仕事の実現できると考えています。

## 私の仕事アイテム



協議した要点や思いついたことなどをメモ帳に書き留めるようにしています。重宝しているアイテムです。

## みなさんへ



今年で入職12年目。これまで沢山のひとたちと出会い、沢山の支えをいただきました。太田市役所には、尊敬する先輩方、キャラが濃いめの同世代、明るく元気な後輩たちなど魅力溢れる職員が沢山います。

これらの職員と共に、行政のありたい姿、太田市のありたい姿について本気で考えてみませんか。一緒に働けることを心より楽しみにしています。

平成29年入職（保健師）

● 健康づくり課

#人とのつながり  
愛着のある太田市に貢献。



## 学生時代の実習で、輝く職員との出会い

太田市へ就職した理由は、これまでの経験や知識を活かし生まれ育った愛着のある太田市に保健師として貢献したいと思ったからです。また、学生時代に乳幼児健診の実習をさせていただき、先輩保健師から「私たちは市民のために、そして子育てに悩む母のためにできるだけ寄り添っていきたい。」と話す姿に感銘を受け、同じ職場で働きたいと思うようになりました。

## 「ありがとう」のかけ声が原動力に

私は成人保健係の一員として、検診や健康教育を実施しています。以前担当をしていた「禁煙チャレンジ」では、禁煙相談希望者に、禁煙を支援するためのアドバイスをさせていただきました。そこで、禁煙に結びついた利用者から「ありがとう」と声をかけてもらい、とても嬉しかったことを覚えています。

一方、禁煙に結びつくことができなかつた方もいるため自分自身の力不足を痛感したこともあります。相談者によって様々な生活背景があるため、それを配慮しながらアドバイスをすることは非常に難しいと感じています。今後も経験を積んだり、先輩方からアドバイスをいただいたりしながら、相手に響くような声かけの仕方や対応の工夫ができれば良いと考えています。



## スノーボードで「on-off」

長く仕事を続けていくうえで、息抜きやプライベートの充実は非常に大事なことだと考えています。市役所に入職して1年目、職場の先輩からスノーボードスクールを紹介してもらい社会人になってから毎週のように行くようになりました。そこで出会った仲間と過ごす時間は、スノーボードに熱中でき、自身の成長につながっていると感じます。仕事を忘れ、趣味に没頭できる時間があるからこそ、仕事の時間は集中して「頑張ろう」という意欲につながっていると思います。

プライベートの充実の仕事への集中につながると感じているため、今後も「on-offできる」をモットーにメリハリをつけて生活をしていき、ワークライフバランスを実行していきたいと考えています。

## 私の仕事アイテム



私の仕事アイテムは「訪問バッグ」です。訪問に行く時は常に持っていきます。先輩の訪問バッグは取っ手が破れるくらい使い込んでいます。私も訪問に沢山出て、このバッグを使い込んでいきたいと思っています。

## みなさんへ



多くの人との出会いを大切にしてください。太田市役所に入職後、今まで関わってきた人とのつながりやその重要性を強く感じています。培った関係は今後の生活に生きてくると思います。また、私自身、入職後も様々な出会いがありその方たちから沢山の学びや経験をさせてもらっています。就職活動は大変なこともあると思いますが、自身の気持ちや能力を十分にアピールして、ぜひ、一緒により良い太田を作っていきましょう。

平成31年入職（一般事務）

● 都市計画課

#あたたかく、個性豊か  
太田市職員であることの誇り。

## 子育てのまちは憧れの的

市外出身の私にとって、美術館・図書館やおうかがい市バスなど、他にはない取り組みを行う太田市は、先進的で憧れの的でした。また、前職での経験の中で、育児と仕事の両立の難しさを痛感していたため、子育て支援に力を注ぐ点も大きな魅力でした。太田市のファンをより増やししながら、同じように悩む人の力になりたいと感じたことが、太田市への就職を希望した理由です。

## 視野を広く、未来を見つめて

仕事をするうえで大切にしていることは、広い視野を持ち、あらゆる目線に立って考えることです。太田市には、年代、性別、国籍も様々な、あらゆる立場の方がいらっしゃいます。なかには、私自身とは真逆の価値観をお持ちの方もいるかもしれませんが、そんななかでも、より多くの方に満足いくサービスを提供できるよう、広い視野を持ち、市民ひとりひとりの目線に立って考える姿勢を大切にしています。

また、市職員は市の未来をつくる仕事でもあるため、ただ単に視野を広くするだけでなく、その先を見つめることも重要だと日々感じています。



## 市役所全体で取り組む「働き方改革」

「働き方改革」という言葉が話題ですが、今まさに市役所全体で取り組んでいるところです。例えば、有給休暇に関しては、上司が先頭に立って取得率増加に向けて動いてくださっています。「若手だから休みづらい」というような空気は無く、むしろ「集中して効率よく業務に取り組むために、休む時はきちんと休む」という考え方が浸透していると感じます。また、様々な制度についても名ばかりでなくきちんと活用されており、私の身近にも、男性での育休取得者がいます。

このようなあたたかい環境もあり、日々の業務に対し前向きに取り組んでいますし、私自身の今後のキャリアプランを考える上でも良い影響を受けています。

### 私の仕事アイテム



就活・転職活動を共に乗り越えた腕時計です。身に付けるたびに、初心や感謝の気持ちを思い起こしてくれます。

### みなさんへ



新型コロナウイルス等の影響もあり、就職活動に不安をお持ちの方も多いのではないかと思います。太田市には、あたたかく、個性豊かで、尊敬できる、素敵な職員がたくさんいます。市民の方から直接感謝の言葉を聞けるような、素晴らしい機会もたくさんあります。私はいま、魅力あふれる太田市の一職員であることを誇りに思っています。一緒に、太田市をつくっていきませんか。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。